

第 1 回県北地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和 4 年 7 月 28 日 (木)
時 間 午後 3 時 7 分～午後 4 時 25 分
会 場 一戸高等学校 会議室

1 開会 (学校教育室高校改革担当主任指導主事 小野寺一浩)

2 岩手県教育委員会あいさつ (教育次長兼学校教育室長 高橋一佳)

- ・令和 3 年 5 月に策定した「新たな県立高等学校再編計画後期計画」において、福岡工業高校と一戸高校を令和 6 年度に統合し、県北地域の専門教育を中心とする学校を整備することとした。
- ・この統合計画について、地域からの要望、意見等をいただいたが、関係各位の御理解、御協力により、検討委員会を開催する運びとなった。
- ・この度の両校の統合は、総合学科高校と専門高校 (工業) の統合となるものであり、両校の伝統を継承・発展させ、より良い学校となるよう、統合検討委員会では活発かつ建設的な議論をお願いしたい。

3 経過報告 (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

- ・令和 3 年 5 月 24 日「新たな県立高等学校再編計画後期計画を策定した。
- ・令和 3 年 7 月に各校管理職、9 月に各校教職員を対象とした説明会を開いた。
- ・令和 4 年 7 月に福岡工業高校入学者の一定数の回復の見込み等から工業学科 2 学級、総合学科 3 学級とする方針を公表した。
- ・今後、統合検討委員会において、校名、校歌、校章など根幹となるものを検討し、細部については、統合準備委員会において検討を進めていく。
- ・両校は令和 5 年度末に閉校し、令和 6 年度に統合 (定員 200 名 5 学級、工業学科 2 学級、総合学科 3 学級) となる。

4 統合検討委員の委嘱 (教育次長兼学校教育室長 高橋一佳)

5 委員長及び副委員長の選出 (学校教育室高校改革担当主任指導主事 小野寺一浩)

- ・委員長 岩手県立一戸高等学校校長 上野光久
- ・副委員長 岩手県立福岡工業高等学校校長 今野雅之

6 協議（議長 委員長 上野光久）

（1）県北地区新設高等学校統合検討委員会設置運営要綱（案）について

（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料3～4ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

（2）県北地区新設高等学校統合検討委員会の組織（案）について

（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料5ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・（中奥委員）統合新設校が2年後の令和6年度に開校することが決定しているが、開校に向けた準備を整えることは可能であるか。

〈回答〉（安齊高校改革課長）令和6年度の統合は、二戸地域の全体的な生徒数の動向を考慮し、早期に専門的な学びの場の確保するものである。現在の両校の学びを維持する形での統合となるため準備可能と考える。

（3）統合検討委員会等に関するスケジュール（案）について

（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料6ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・（高村委員）統合に向けてのスケジュールはタイトではないか。

〈回答〉（安齊高校改革課長）令和6年度の統合に向けてスケジュールを詰めた形で示している。見込みでは、このスケジュールで検討が進められると考えており、小委員会等での議論を並行させながら進めていきたい。

〈回答〉（上野委員長）事務局校としても統合準備を円滑に進めていきたい。

（4）主な検討事項等（案）について

（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料7ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・（高村委員）統合後、新設校の同窓会と現在の各校の同窓会が別組織となっても一緒に活動できるのか懸念している。同窓会の在り方について、どのようになるのが良いと考えているのか伺いたい。そして、同窓会の在り方について県教育委員会はどのように考えているのか伺いたい。また、現在の同窓会運営費は、どのように扱うのか。

〈回答〉（上野委員長）別表2の検討事項に、同窓会の項目を挙げており、小委員会等で検討することとしている。同窓会の在り方は、県教育委員会が決めることではなく、両校で決めていくこととなる。また、同窓会の運営費の運用は、同窓会で決めることができる。

〈回答〉（安齊高校改革課長）同窓会の在り方については、案を両校で検討して

いく。時間がかかることでもあり、丁寧に調整を行いたい。宮古商工高校の事例では、統合後も検討を重ねている。

(5) 県北地区新設高等学校校名について

(一戸高校副校長 新田剛史)

- ・両校で検討してきた校名案の決め方については、透明性が高いとのこと、公募により県民の関心や宣伝効果の高まりを期待できること等の理由から、事務局案として校名案は公募で行うことを提案。

- ・(鳩岡委員) 公募の方法はどのようになるか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) この後、事務局案を提示する。

- ・事務局から校名公募実施要項案を配付し、読み上げて説明、提案。

(一戸高校副校長 新田剛史)

- ・(田家委員) 校名公募について、学校のホームページからの周知だけでなく、新しい学校に興味を持ってもらうために各(市町)教育委員会から協力を得られないか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 各(市町)教育委員会にどのように協力をお願いするか検討したい。

- ・(中嶋委員) 公募期間の最終日は8月21日(日)の設定だが、小中学生への周知可能な夏休み明けまで公募期間は延長できないものか。また、公募したあとのスケジュールはどのようになるのか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 校名案について9月の統合検討委員会に間に合わせるために、8月21日(日)とした。公募後のスケジュールは、集計作業をして、小委員会にて校名案を選定し、9月の第2回統合検討委員会に報告、校名案候補を選定し、県に報告する予定である。

〈回答〉(安齊高校改革課長) 公募をもとに、校名案を統合検討委員の方に1つまたは複数決定してもらい県に提案していただく。その案を教育委員会議で協議し決定する。決定後は、統合検討委員会にお知らせする。

- ・(高村委員) 新聞には公募について掲載するのか。公募期間の最終日が8月21日(日)では、近隣の中学生には伝わらないのではないか。

- ・(上野委員長) 公募については、報道各社に情報提供し、両校のホームページで掲載、さらに各(市町)教育委員会に校名公募についての依頼を行い、周知に努めたいと考えているが、締切日である8月21日(日)では小中学生への周知が難しいため、1週間ずらし、8月28日(日)としたい。

- ・提案した公募期間の締切日8月21日(日)を8月28日(日)として承認。

(6) 校舎制について

(一戸高校副校長 新田剛史)

- ・資料9ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・(中奥委員)独立校舎型の場合、教員は授業をするために校舎間を移動するのか。
また、部活動場所への生徒の移動についてはどのようなになるのか。

〈回答〉(安齊高校改革課長) 専門科目(工業)の教員は、移動することはないものと考えている。共通(普通)教科では、教育課程によっては教員が校舎間を移動して授業を行う可能性はある。また、部活動場所への生徒の移動は、宮古商工高校の事例では、学校のバスを利用し送迎を行っている。

(7) その他

- ・(上野委員長) その他、資料にある検討事項以外の検討事項があれば、この場を出していただきたい。検討事項があれば各校に持ち帰って検討していきたいと思う。
 - ・(田家委員) 新設される高校は、魅力ある学校となるように検討してほしい。
 - ・(高村委員) 現状では生徒たちの通学するための交通手段が少ない。現在、各校の生活時程は違う。福岡工業高校では、列車時刻に合わせて、生活時程を作成したと聞いている。生徒が通学しやすい生活時程となるよう配慮をお願いしたい。
 - ・(中奥委員) 令和7年3月の二戸地域の中学校卒業生数が363名となる見込みである。生徒数の減少により、近い将来、さらに新たな計画を立てる時期が来るのではないかと感じている。
- 〈回答〉(安齊高校改革課長) 非常に重要な視点である。全県的に子どもの数が減少傾向にある。御意見として今後検討したい。

7 その他

- ・(鳩岡委員) 県教委が後期計画を発表して以来、二戸市としては県北唯一の工業高校を守りたいという一心で様々取り組んできた。

7月1日に県教委が、福岡工業高校の現状の2学科2学級を保証するという内容で計画の見直し案が公表され、県においては、相当重い政策判断がなされたものと拝察している。

この判断を受け、二戸市の対応について検討するため、各界の皆様、福岡工業高校同窓会、二戸市商工会、市のPTA連合会、青年会議所、誘致企業連絡協議会などの関係者に御意見を伺った。

皆様の御意見としては、第一に工業高校の看板がなくなるのは寂しい、一方では2学科2学級が保証される点は非常に大きいという評価であり、加えて生徒数が減少するという状況の中で、学校に活力があるうちに判断

を行うべきであり、生徒のプライドにとっても非常に大事なことではないか、という御意見であった。

これらの御意見を踏まえ、7月14日に開催した市議会の全員協議会において市長は、県教委の案を受け入れたい旨を表明したところであり、未来の子どもたちに責任を負わなくてはならないと強く申し上げたところである。このたびの統合を進めるに当たり、まさに未来の子どもたちの学びの環境の確保に向け二戸市としてまさに思慮に思慮を重ねて判断したものである。

御参集の皆さまからお知恵を拝借し、御意見をいただきながら、よりよい学校といていきたいと思っており市教委としても御協力申し上げたい。

- ・（一戸高校新田副校長）第2～4回の統合検討委員会日程について、出席できる日を報告するよう委員に依頼。

8 閉会（事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史）

※午後4時25分終了